

山梨県立美術館協議会 令和2年3月資料一覧

1. 美術館活動報告と予定
2. 指定管理者(SPS 桔梗屋 KBS 共同事業体)
3. 教育課程について
4. 観覧者、利用者について
5. 協議会委員名簿、館組織図、根拠法令

美術館活動における長期目標

- 県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。
 - 【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。
 - 【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。
 - 【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

令和2年度後期の活動の状況

- 【展示／見る】・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力あるコレクション展を開催する。
 - 〈コレクション展〉魅力的なコレクション展をめざし、テーマ性を打ち出した企画展示を年4回行う。
 - 秋季「秋の情景」「秋の絵画～野口コレクションから～」「コレクションに見る水の表現」「特集：佐藤正明」
 - 冬季「吉祥と冬景の絵画～野口コレクションから～」「雪を表す：コレクションに見る冬の情景」「コレクションに見る「石」の表現」Focus on details—細部を追い求めて—
 - 春季「戦後を生きた画家たち—池田龍雄を中心に—」「野口コレクションの動物たち～禽獣虫魚の世界～」「春の情景」「令和元・2年度 新収蔵品展」(予定)

- 〈特別展〉 ※別紙「R2(2020)年度 特別展概要」参照
 - ・クールベと海 フランス近代 自然へのまなざし 9月11日(金)～11月3日(火・祝)
 - ・栗田宏一×須田悦弘展 - Contentment in the details - 11月14日(土)～2021年1月31日(日)
 - ・キューガーデン 英国王室が愛した花々 2月11日(木・祝)～3月28日(日)

- 〈キュレーターズ・アイ〉
 - ・みなび2020 with 村上慧 2月9日(火)～3月21日(日)

- 【教育普及／学ぶ】・アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。／・県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。／・学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育・実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。／・美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

- 〈活動内容〉 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため下のとおり実施。
 - ・「みんなで作る美術館(みなび)」は、インターネット上で展開したワークショップの作品や、テーマソング、メインゲストの作品などを、「このドアをあけたら」展としてギャラリー・エコー(エントランス)に展示。
 - ・募集した画像作品は、現在も「みなびインスタグラム」で公開中。／・みなびイベント「雨宮国広氏・村上慧氏トークショー」を対策をとり実施。その映像を当館HP上で公開中。／・キッズプログラムは「英国王室が愛した花々」展で「発見！観察！植物の面白さ美しさをみつけよう」を実施。／・スクールプログラムにおける「対話的な鑑賞」や「創作体験」は現在も控えている。／・造形広場は、7月以降1回6組までとして実施してきたが、1月から1回8組に拡大。参加できなかった方々のために「造形広場」の内容を当館のホームページで公開中。／・教師のための鑑賞研究会は、ギャラリー・トークをインカムを使用して行うなどディスタンスを確保して開催。／・画は申込制で実施。／・美術体験・実技講座は4月～6月は実施なし。7月以降現在までは定員を大幅に減らして実施。／・高齢者施設での出前講座として、鑑賞体験、創作体験を実施。／・新田小学校ギャラリー・トークは、壁新聞形式で実施。

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

- 〈質の高いサービス提供〉
 - ・ボランティアのスキルアップをめざす研修・学習会を実施。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 〈様々な付加価値の創造〉 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部、一時期中止。徐々に再開。
 - ・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。(SPS)
 - ・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。
 - ・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。
 - ・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。(SPS)
- 〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉
 - ・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。
 - ・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。
 - ・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

- 【文化庁支援事業】
 - ・「博物館等を中核とした文化クラスター推進事業」採択。最長で5年間継続(R6年度まで)
 - ・高精細画像撮影、美術館・コレクション紹介動画制作、アート・プロジェクト、作品解説プログラム強化、美術館の未来像醸成、ホームページ改修、Wi-Fi整備 など

中期目標と令和3年度の具体的活動予定と中期目標

1. 山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。
2. 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。
3. アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。
4. 広報活動の強化。

- 【展示／見る】
 - ・開催趣旨と目標(集客、研究、人気もの etc)を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくするような魅力あるコレクション展示の創出を図る。

- 〈コレクション展〉
 - 従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。
 - ・ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年4回の展示替えを実施。
 - ・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。(特にテーマ展示室)
 - ・東京オリンピック・パラリンピック記念 6館連携事業「北斎・広重そして萩原英雄 富嶽三十六景展」(仮称)の開催：夏季(令和3年)

- 〈特別展〉 ※別紙「R3(2021)年度 特別展概要」参照
 - ・テオ・ヤンセン展 4月24日(土)～6月22日(火)
 - ・蜷川実花展 -虚構と現実の間に- 7月10日(土)～8月29日(日)
 - ・新版画展—笠松紫浪を中心に—(仮称) 9月11日(土)～10月24日(日)
 - ・シダネルとマルタン(仮称) 11月3日(水・祝)～令和4年1月10日(月・祝)

- 【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。／・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。／・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。／・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。／・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

- 〈活動内容〉
 - 「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」・キッズプログラム(小中高生対応)／・映画会／・職場体験学習／・校外学習への対応(オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験)／・ギャラリー・トーク／・学校への出前授業／・アートボックス貸出・施設の貸出／・創作教室／・造形広場／・みんなで作る美術館(現代美術作家との協働)／・教師のための鑑賞研究会／・大人のための美術講座／・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む)／・ギャラリー・トーク／・アート・カードのレクチャー及び貸出
 - 「地域との連携強化」
 - ・美術館周辺校(新田小学校)との6カ年を通じた継続的な連携。／・高齢者を対象とした、鑑賞や創作のワークショップの実施。




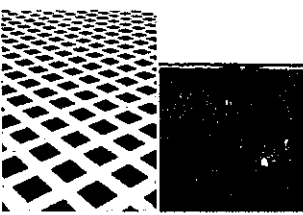

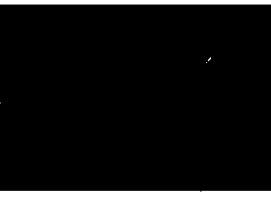

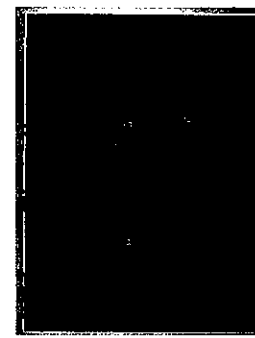

- 【付加価値・魅力／憩う・広報活動】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。
 - ・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア(案内、解説、情報 etc.)のスキルアップに務める。
 - ・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。
 - ・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。
 - ・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。
 - ・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。
 - ・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

- 【文化庁支援事業】
 - ・事業名改め「文化観光拠点施設を中心とした地域における文化観光推進事業」へ継続して事業申請中。3月採択予定。

▶▶▶▶▶ これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

R2 (2020) 年度

R3 (2021) 年度

<p>キューガーデン 英国王室が愛した花々 ※中止</p>	<p>蜷川実花展 ※中止</p>	<p>クールベと海</p>	<p>栗田宏一・須田悦宏展</p>	<p>キューガーデン 英国王室が愛した花々</p>	<p>テオ・ヤンセン展</p>	<p>蜷川実花展 -虚構と現実の間に-</p>	<p>新版画展 -笠松紫浪を中心に- (仮称)</p>	<p>シダネルとマルタン (仮称)</p>
<p>2020年4月25日(土) ~6月21日(日)</p>	<p>7月8日(水) ~8月30日(日)</p>	<p>9月11日(金) ~11月3日(火・祝)</p>	<p>11月14日(土) ~2021年1月31日(日)</p>	<p>2021年2月11日(木) ~3月28日(日)</p>	<p>4月24日(土) ~6月22日(火)</p>	<p>7月10日(土) ~8月29日(日)</p>	<p>9月11日(土) ~10月24日(日)</p>	<p>11月3日(水・祝) ~2022年1月10日(月・祝)</p>
<p>ユネスコ世界遺産にもなっている世界最大級の植物園が所蔵するボタニカルアートを紹介する。イギリス王室の繁栄と近代植物学の発展を背景として、美しい花々を描いた18世紀の優品を主に展示する。さらに、キューガーデンを支えたシャーロット王妃が愛したウェッジウッド社の陶磁器も合わせて紹介する。</p>	<p>独特な色彩感覚で知られる写真家、蜷川実花の様々な作品を紹介する。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事にも就任し、ますます注目される蜷川の世界を堪能できる機会となる。</p>	<p>ミレーらと共にリアリズム(写実主義)を代表する画家のギュスターヴ・クールベ。彼の風景画、とりわけ「海」を描いた作品を紹介する。また以前、同時代の画家たちの作品も展示することで、クールベ作品の特質を明らかにする。</p>	<p>両者は、日本はもちろん、国際的に活躍している現代アーティストで山梨出身。土を採集して展示する手法の栗田と、植物の彫刻でインスタレーションを展開する須田。日常の中にもうひとつの世界を開いてくれる二人の作品を紹介する。</p>	<p>ユネスコ世界遺産にもなっている世界最大級の植物園が所蔵するボタニカルアートを紹介する。イギリス王室の繁栄と近代植物学の発展を背景として、美しい花々を描いた18世紀の優品を主に展示する。さらに、キューガーデンを支えたシャーロット王妃が愛したウェッジウッド社の陶磁器も合わせて紹介する。</p>	<p>「現代のレオナルド・ダ・ヴィンチ」と称されるオランダの作家テオ・ヤンセン。本展では、プラスチックチューブで構成され、風力によって生物のように歩行する造形作品「ストランド・ピースト(砂浜の生命体)」の数々を展示する。一部の作品はリアニメーション(展示室内でのデモンストラーション)の鑑賞を可能とし、迫力ある造形物を体験する貴重な機会となる。</p>	<p>独特な色彩感覚で知られる写真家、蜷川実花の様々な作品を紹介する。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事にも就任し、ますます注目される蜷川の世界を堪能できる機会となる。</p>	<p>写真に取って代わられた浮世絵を復活すべく生まれた新版画。近年、風景画の川瀬巴水や吉田博、美人画の橋口五葉、花鳥画の小原古邨らが注目を集め、再評価が進んでいる。浮世絵からの歴史を丹念に辿ることで、写真にはない芸術的表現を展開する様々な作品を紹介する。また、国内最多の笠松紫浪作品を所蔵する当館の特質を生かし、その再評価を試みる。</p>	<p>19-20世紀のフランスを中心に活躍したシダネルとマルタンは、フランス芸術家協会展(ル・サロン)への出品を通じて深い親交を結んだ。身近な庭や風景、人物などを題材とした鮮やかな作品を通し、当時、フランスで起きた様々な芸術運動を目撃した二人の画家にせまる。印象派の流れを継承し、鮮やかな色彩と光が特徴的な作品をまとめて見る貴重な機会となる。</p>
								
<p>シデナム・ティースト・エドワーズ《ボタン(ボタン科)》1809年</p>	<p>earthly flowers, heavenly colors (2017) ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery</p>	<p>ギュスターヴ・クールベ《海》1869年頃 ふうやま美術館</p>	<p>(左) 栗田宏一《soil library》 (右) 須田悦弘《雑草》</p>	<p>シデナム・ティースト・エドワーズ《ボタン(ボタン科)》1809年</p>	<p>テオ・ヤンセン《Animaris Omnia》2018年 作家蔵</p>	<p>earthly flowers, heavenly colors (2017) ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery</p>	<p>笠松紫浪《霞む夕べー不忍池畔》1932年 山梨県立美術館</p>	<p>アンリ・ル・シダネル《日曜日》1898年 シャルトルーズ美術館</p>

令和2年度 上半期美術館協議会

山梨県立美術館 指定管理者
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

◆目次

- ▶ 1. 指定管理第3期の運営方針
- ▶ 2. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館対応
 - ・臨時休館 ・駐車場閉鎖
- ▶ 3. 感染症対策を行いながらの開館
 - ・感染拡大防止策を講じての再開準備とスタッフ研修
 - ・施設貸出の再開と消毒
- ▶ 4. 展覧会再開と広報活動
 - ・バーチャル展示室 ・インスタグラムの開設 ・WEBアンケート
 - ・特別展広報 ・特別展関連事業 ・ゲームアプリとのコラボ
- ▶ 5. レストランの取り組み
- ▶ 6. 下期に予定している活動

1. 指定管理第3期の運営方針

指定管理第3期（4年間）の運営方針

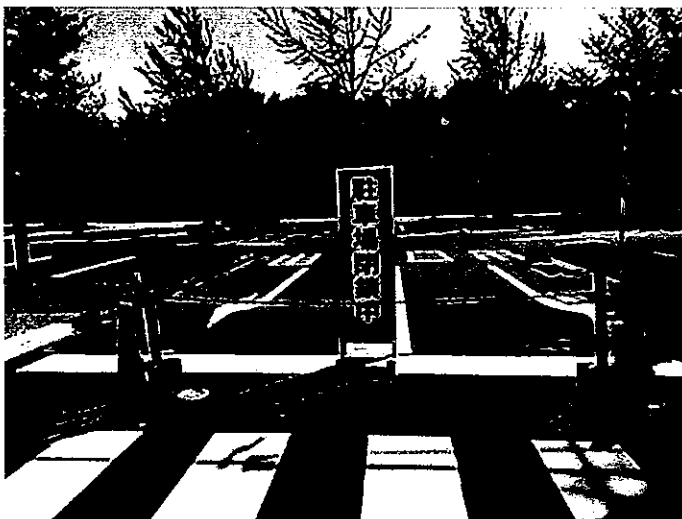
- 施設の新たな魅力の発掘と発信
観光資源としての魅力をアピール
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
地元企業や団体等との強固な関係構築
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化
施設維持管理会社が共同事業体へ参画
効果的・効率的で安定した施設管理

2. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館対応

● 臨時休館、駐車場完全封鎖（4月）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため「4/7～5/31」まで「臨時休館」となった。4/22には駐車場の閉鎖も決定し、第1駐車場の出入口をチェーンやバーで閉鎖し「駐車場閉鎖中」表示を設置した。

お客様への周知としてはHPへの情報掲載と、長時間駐車中の車両には張り紙をしてお知らせし、退場を促した。利用者の皆様のご協力により、4/26に駐車車両0で完全閉鎖とした。



駐車場封鎖の様子

HPでの休館告知

News お知らせ

> 一覧

20.04.23

«貸出し施設の利用をご希望の方へ»

駐車場の閉鎖に伴い、施設利用の受付を当面の間中止致します。

20.04.22

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言を受け、山梨県の要請により4月22日（水）から当面の間すべての公園駐車場を閉鎖いたします。

20.04.19

3. 感染症対策を行いながらの開館

● 感染拡大防止策を講じての開館準備とスタッフ研修（5月）

コレクション展は6月2日から再開した。開館を迎えるにあたっては、日本博物館協会のガイドラインに基づきSPSで対策案を立て、それを基に総務課・学芸課と打ち合わせを重ね、細かく対応ルールや表示のデザインなどを決めた。

感染症対策は、検温や消毒液の設置のほか、チケットカウンターへのアクリル板の設置、床面の足跡マークや順路のマーキング、スタッフのフェイスシールド・手袋の着用など多岐に亘った。

このほか各展示室に入れる人数も実際にお客様導線を計測し、密の状態になった場合にお待ちいただく列整理の場所やその間隔を現場を見ながら確認し、準備した。

お客様へのお願い



マスクの着用の上、ご入館ください



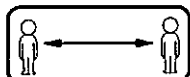
入館される皆様に、検温させていただいております



手指消毒にご協力ください



「健康チェック」と「連絡先」の記入をお願いします
※発熱や風邪、味覚障害があるお客様は入館をご遠慮いただきます



作品を鑑賞される際は、他のお客様と距離をあけてご鑑賞ください

こちらで
お待ちください



自作した表示

【スタッフ研修の開催】

展覧会を再開するにあたり、スタッフ研修を実施した。

館内で準備した感染症対策を一覧にまとめた資料を基に対応方法について説明。これまでの業務になかった新たな対応や声掛けも多いため、場当たりをしながら検温やチケット販売の手順などを確認し、不安点を解消させた。



3. 感染症対策を行いながらの開館

●施設貸出の再開と消毒（7月）

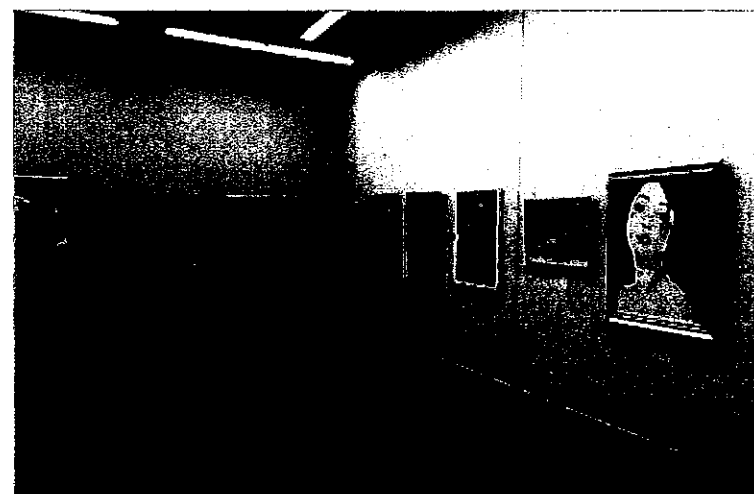
新型コロナ感染症防止対策に沿った「施設使用基準」を作成し、7月より県民ギャラリーや工房などの各施設の貸出を再開した。

再開にあたっては、手すりやドアノブといった多くの人に触る場所の消毒回数を増やしたり、化粧室の個室の利用制限、洗面台を1つおきの利用にするなどの3密を防ぐための制約を設け、感染症対策につとめた。

県民ギャラリーでは、主催者や搬入者に搬入口前で検温や手指消毒、健康チェックシートへの記入をお願いした。また主催者には、会場内が密にならないように協力を依頼し、安心・安全な環境の中で作品を鑑賞していただいている。



県民ギャラリー搬入口での消毒・健康チェックシートセッティングの様子



ギャラリーの椅子も密を避けて配置



4. 展覧会再開と広報活動

● ホームページ上に「バーチャル展示室」を開設

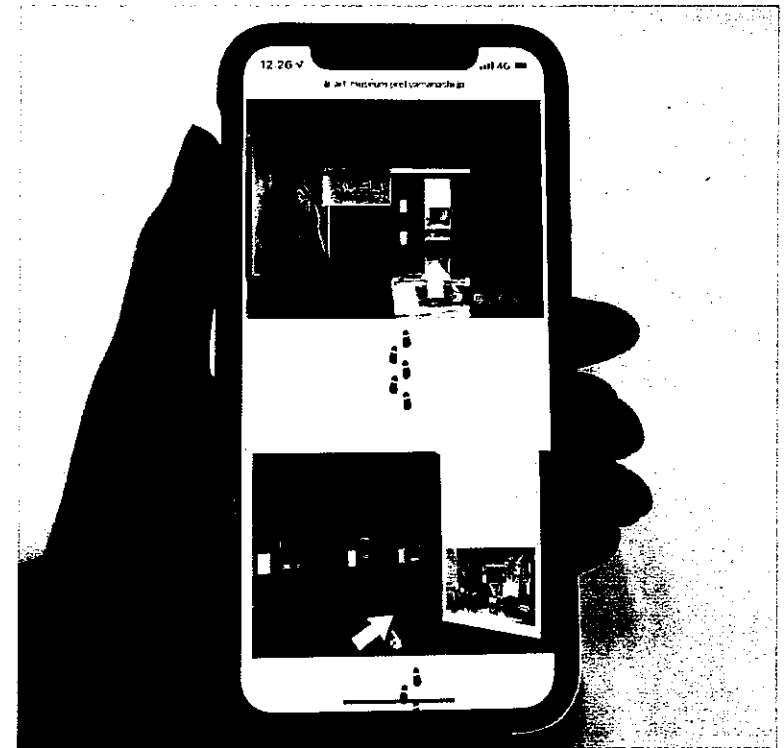
コロナ禍の取り組みとしてお家で楽しめるデジタルコンテンツを公式HPにて配信した。オンライン上で絵画を楽しむことができる「バーチャル展示室」や、ミレーの作品をモチーフにした、ぬりえ・めいろ等、様々な年代のお客様に楽しんでいただけるコンテンツをアップした。これらのコンテンツは新型コロナウイルス感染拡大の影響により自宅で過ごすことが多くなったお客様に、美術館が休館中であっても美術作品に触れ、楽しんでもらいたいという想いで企画した。この取り組みは新聞等の各メディアにも取り上げられ、現在では北海道博物館が企画する「おうちミュージアム」にも参画している。施設の営業は再開したが、今後も多くのお客様に楽しんでいただけるデジタルコンテンツの配信を継続していくことで、美術館の魅力発信に取り組んでいきたい。

メディア掲載実績

<新聞> 日経新聞／毎日新聞／読売新聞／朝日新聞／山梨日日新聞／上毛新聞／産経新聞／山梨新報／富士ニュース

<WEBニュース> Yahoo!ニュース、日経電子版

<その他> TV：NHK甲府、ラジオ：YBSラジオ

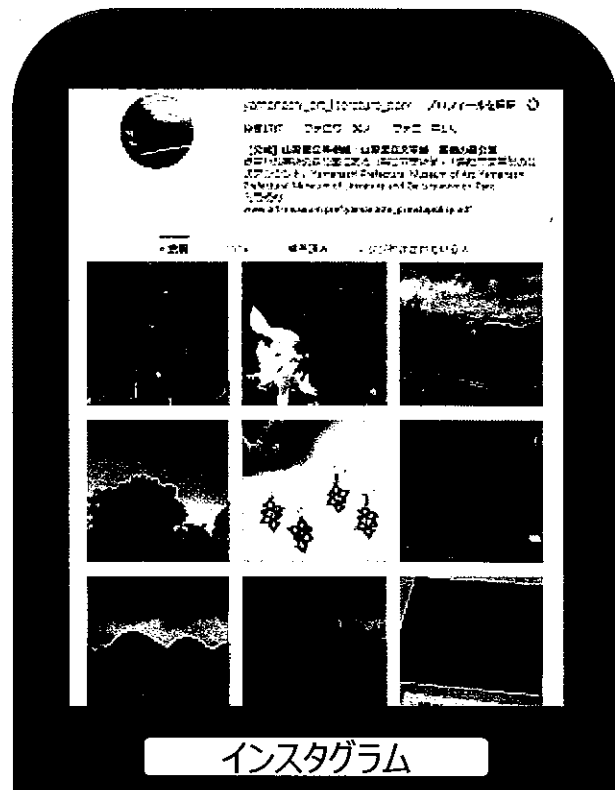


4. 展覧会再開と広報活動

●Instagram開設とウェブアンケート

美術館の再開に合わせ、美術館・文学館・芸術の森公園の公式Instagramを開設した。このアカウントでは、展覧会や展示作品の紹介だけでなく、ミュージアムグッズやレストランのメニュー、公園の四季の表情など、3施設の魅力を伝える写真を投稿している。

これまでSNSはフェイスブックを開設していたが、情報は美術館に関するもののみを発信していた。今回の目的は、必ずしも展覧会に興味がなくとも、その周辺情報から興味、関心を引き出し、来館のきっかけになることを期待している。



【ウェブアンケートの開始】

感染症対策として紙アンケートを中止したため、代わりにウェブ上でのアンケートを開始した。お客様ご自身の携帯電話を使って回答することができるため、衛生面の不安感を解消できる。

利用者はまだ少ないため、チケット販売カウンターでは二次元バーコードのプリントを手渡しし、館内各所にも掲示を出す等して、お客様の声を収集する工夫をしている。

山梨県立美術館アンケート

ご来館のお客様にアンケートをお願いしております。

本館なら館内に設置しているアンケート用紙にご記入いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ウェブアンケートにご協力ください。
※下記にご入力いただいた内容については個人を特定しない統計情報として利用させていただきます。

*必須

ご来館日

日付

年/月/日

性別

男性

女性

ご来館ありがとうございます。
ご意見やご感想をお聞かせください。
ご協力をお願いいたします。

※スマートフォンなどで
下の二次元バーコードを読み取り、
ウェブアンケートにご回答ください。



観るまく世界がひろく
山梨県立美術館
Yamaguchi Prefectural Museum of Art

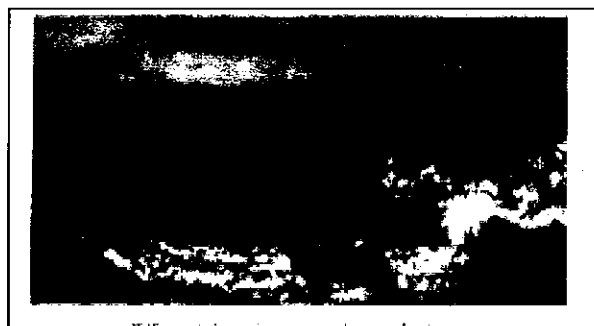
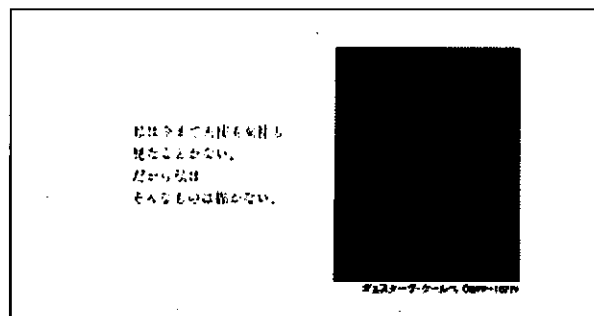
4. 展覧会再開と広報活動

● 特別展広報

今年度最初の特別展は、「クールベと海展」が9月11日から開催された。

広報活動としてはまずテレビCMを8月27日からテレビ山梨で開始した。クールベの波を強調した映像により印象強いものとなった。

また9月は観光シーズンであり、政府主導の様々なキャンペーンがスタートすることもあり、観光客の玄関口となる甲府駅へのポスター掲示、また駅に隣接する県立図書館との連携により図書館内のサインージへの広報も展開した。



テレビCM



上：駅張りポスター、下：図書館

4. 展覧会再開と広報活動

●特別展「クールベと海」記念コンサート (9/20)

記念コンサートの出演はピアニストのKaoli氏。ショパン等、クールベと同時代に活躍した作曲家の作品の他、特別展からインスピレーションを得た即興演奏を披露していただいた。クールベの「波」から感じた「吸い込まれるような引力」を表現した演奏や、作品の色調を音で表すなど、来場者の興味・関心を特別展に繋げることができた。



●特別展「クールベと海」 関連事業 サンドアート・パフォーマンス (10/25)

砂を使って絵を描き、物語を紡いでいくサンドアート・パフォーマンス。アニメーションのように変化をしていく砂の様子が刻々と形を変えて打ち寄せる波のイメージに重なることから、「クールベと海」展の関連イベントとして実施した。

サンドアーティストのKohei氏がクールベの半生と彼が描いた海を表現し、その幻想的なパフォーマンスに客席からは、拍手や歓声が上がった。

※ 参加数 1回目48名、2回目49名

※山梨日日新聞の取材あり。(未掲載)



4. 展覧会再開と広報活動

● ゲームアプリとのコラボレーション

新たなファンの獲得のため、ミレーとクールベが登場するゲームアプリ『パレットパレード リパレード (以下リパレ)』とのコラボレーション企画を実施した。

クールベ展の会期に合わせて、美術館ではキャラクターの描き下ろしスタンディパネルを展示し、ミュージアムショップではオリジナルグッズを販売した。ゲーム内でも美術館をモチーフにしたシナリオイベントを展開するなど、バーチャルとリアルの両方で展覧会を盛り上げる企画となった。



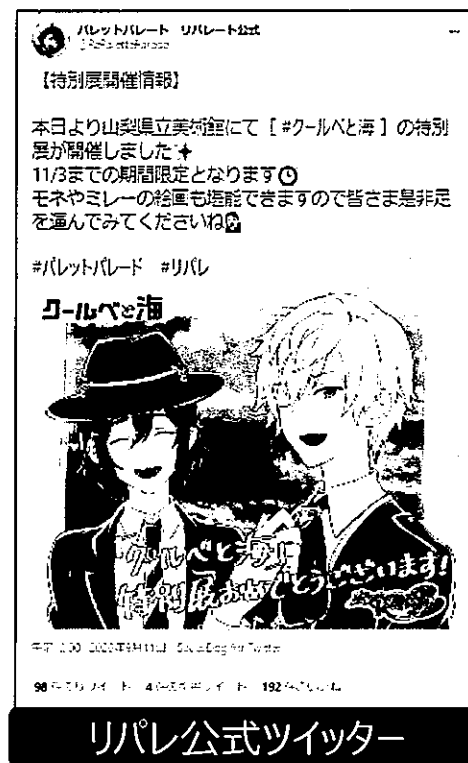
オリジナルグッズの一部

※入荷直後、早々に売り切れとなる商品もあった

スタンディパネル展示

ミレー (左) クールベ (右)

※山梨をイメージするワインとブドウを持っている



リパレ公式ツイッター

5. レストランの取り組み

● レストラン アート・アーカイブス : やまなしグリーン・ゾーン認証取得

美術館レストランでは、感染症予防対策への取り組みを行い、「やまなしグリーン・ゾーン認証」を取得した。認証取得にあたっては、認証事務局による実地調査が行われ、感染症予防対策の確認と、レストランの構造や空調設備について、資料の提出が必要であり、桔梗屋中心に指定管理者で連携しての対応となった。

結果、スムーズな認証取得に繋がり、GoToEatキャンペーンの対象にもなることから、今後の需要喚起に期待したい。



【特別展メニュー】

特別展の再開に伴い、レストランでも特別メニューを企画。展覧会の余韻とともに楽しんでいただいた。

クールベと海 フランス近代 自然へのまなざし

特別展メニュー
2020.9.11-11.3



富士の介のフイヤベース レイユ添え ひん、サンダー、コートーor 煎餅 ￥1,800

1人前の定額で提供いたします。お祝いごとのご来店も承ります。お祝いごとのご来店も承ります。お祝いごとのご来店も承ります。



焼き立てそばのガレットコンプレット ￥900

フッパインで「美どり」を添え、お祝いごとのご来店も承ります。お祝いごとのご来店も承ります。お祝いごとのご来店も承ります。



アリゴ 旬の採れたて野菜を添えて ￥900

お祝いごとのご来店も承ります。お祝いごとのご来店も承ります。お祝いごとのご来店も承ります。

価格は税別価格です

6. 下期に予定している活動

基盤整備・運営面

- ▶ 文学館と連携した避難訓練
(10月)
- ▶ ホームページ全面改修
(文化庁：文化クラスター推進事業)
- ▶ スマホ版ホームページ構築
(文化庁：文化クラスター推進事業)
- ▶ 公園整備

広報・自主事業

- ▶ 野外彫刻ツアー (10月~11月)
- ▶ 県民の日イベント (11/20)
- ▶ かぞくでアートたいむ (12/5)
- ▶ ミュゼ・ド・ノエル (12/5、6)
(文化庁：文化クラスター推進事業)
- ▶ スマホカメラ・フォトレッスン (12/13)
- ▶ クリスマス・イベント (12/5~25)
- ▶ 正月イベント〔神楽〕 (1月予定)
- ▶ ニューイヤーコンサート (1月予定)

終わり



令和2年度 下半期美術館協議会

山梨県立美術館 指定管理者
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

◆目次

- ▶ 1. 指定管理第3期の運営方針
- ▶ 2. 新たな魅力の発掘と発信
 - ① 展覧会観覧誘致のための広報活動
 - ② 観光資源としての魅力アピール
- ▶ 3. 「文化クラスター事業」への取組
 - ① 「ミュゼ・ド・ノエル」開催
 - ② ホームページ全面リニューアル
- ▶ 4. レストランの取り組み
- ▶ 5. 安心・安全な施設の維持管理
- ▶ 6. 令和3年度に予定している活動



1. 指定管理第3期の運営方針

指定管理第3期（4年間）の運営方針

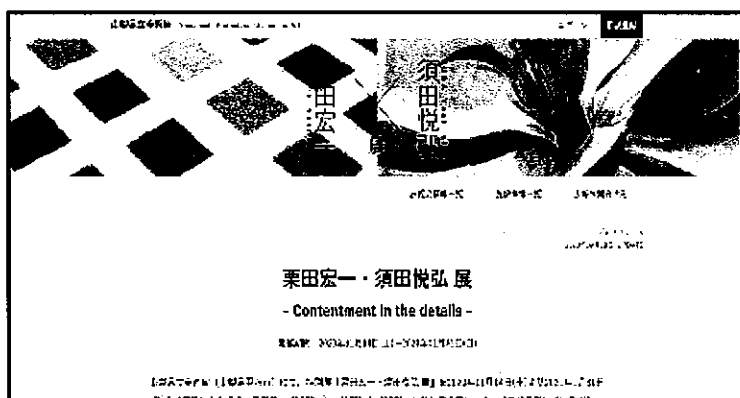
- 施設の新たな魅力の発掘と発信
観光資源としての魅力をアピール
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
地元企業や団体等との強固な関係構築
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化
施設維持管理会社が共同事業体へ参画
効果的・効率的で安定した施設管理

指定管理者活動トピックス

2. -①展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「栗田宏一・須田悦弘展」広報 (2020年11月14日〈土〉～2021年1月31日〈日〉)

9月の「クールベと海」展に続き、オンラインプレスリリースを配信した。これにより、WEB関係の美術担当ライターが参加されたことで、これまで情報掲載頂けなかった「芸術広場」での配信があった。また、現代作家を積極的に紹介する『日曜美術館 アートシーン』に取材交渉し、番組で取り上げてもらうことができた。(12月6日放送)



オンラインプレスリリースページ



アートシーン撮影の様子

来館者数：8,929人

指定管理者活動トピックス

2. -① 展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「栗田宏一・須田悦弘展」関連イベント

二ノ宮美和神社の太々神楽 (2021年1月9日)

栗田宏一、須田悦弘両名の出身地である笛吹市、二ノ宮美和神社に伝わる太々神楽（県指定無形民俗文化財）を開催した。狐や天狗の面を着けた舞手が笛太鼓のお囃子に合わせて舞う様子は迫力があり、色鮮やかな装束や面は誰もが引きつけられるきらびやかなものであり、集まったお客様を楽しませた。

【参加者数】 24名 / 定員28名



指定管理者活動トピックス

2. ① 展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「キューガーデン英国王室が愛した花々」広報 (2021年2月11日<木>~2021年3月28日<日>)



CMに女の子を起用し、動きのある映像を制作した。美術館の広報としては珍しいため、ご覧になった方からは大変好評いただいている。また、インスタグラムでは、ショップに並んだ華やかな関連グッズを紹介し、展覧会以外にも魅力を感じてもらえる演出をしている。

CM画像



Instagram
画像



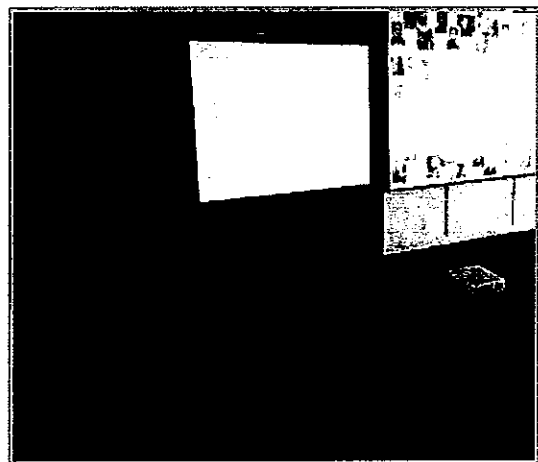
指定管理者活動トピックス

2. -②観光資源としての魅力アピール

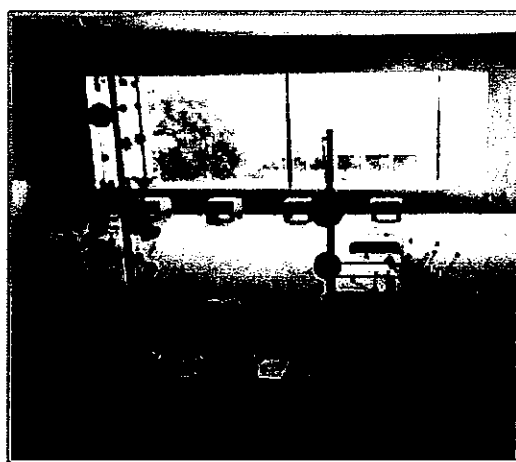
お正月イベントの開催 (2021年1月2日~3日)

来館者に館内でもお正月を楽しんでいただけるよう雛飾りや正月遊びを用意した。1階ロビーでは、後に開催する太々神楽の映像を上映し、期待感を高めた。またチケット購入者を対象にカルタや福笑い、凧など、昔から楽しまれてきたお正月遊びのおもちゃを用意し、おうちで過ごす時間を楽しんで頂けるようプレゼントした。

【昔のおもちゃ配布数】200個



獅子舞映像



つるし雛



昔のおもちゃプレゼント

指定管理者活動トピックス

2. -② 観光資源としての魅力アピール

ニュー・イヤー・コンサート 2021 (2021年1月17日)

山梨交響楽団との連携による毎年恒例のイベント、「ニューイヤー・コンサート」は、感染症対策により例年より出演者も集客目標数も規模を縮小しての開催とした。クラシックの名曲、冬の童謡メドレー、ディズニー映画など幅広いジャンルと馴染みのある楽曲を用意することでご家族で楽しんでいただける内容とした。客席数を絞りながら予約制とし、受付・入場時の誘導も密を回避しながら対応した。

【参加者数】 33名 / 定員28名



コンサートの様子



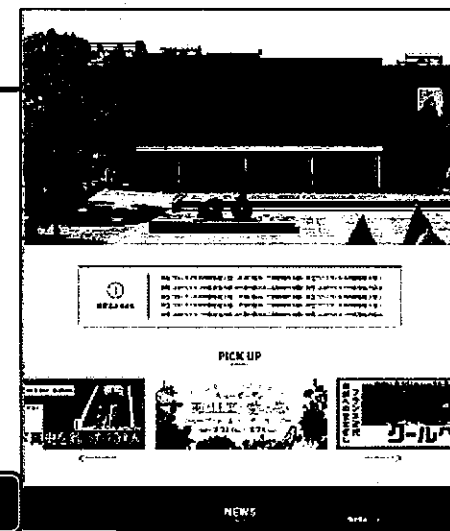
指定管理者活動トピックス

3. 文化庁「文化クラスター事業」への取組

- ① ミュゼ・ド・ノエルの開催 (2020年12月4日<土>、5日<日>)
- ② ホームページの全面改修 (2021年 3月公開予定)

①秋の恒例イベントとなっている「やまなしマルシェ」を、今年は文化庁のクラスター事業の一環として開催した。実施は感染症拡大防止のために入場者管理ができる範囲に縮小。美術館内での開催とした。名称も、「ミュゼ・ド・ノエル」に変更。内容は山梨の食と文化を体験できるイベントとした。(出展者：11店舗、ワークショップ：4店舗、セミナー：2種開催) 【参加者数】12/5(土) 494名、12/6(日) 534名：計 1,028名

②収蔵作品のデジタル化に合わせ、WEB活用を見込んでホームページの全面改修をおこなっている。内容は、観光客の取り込みをめざしてアクセスの表記の充実や、公園利用を促進するためMAPをリニューアルして掲載するなど工夫している。



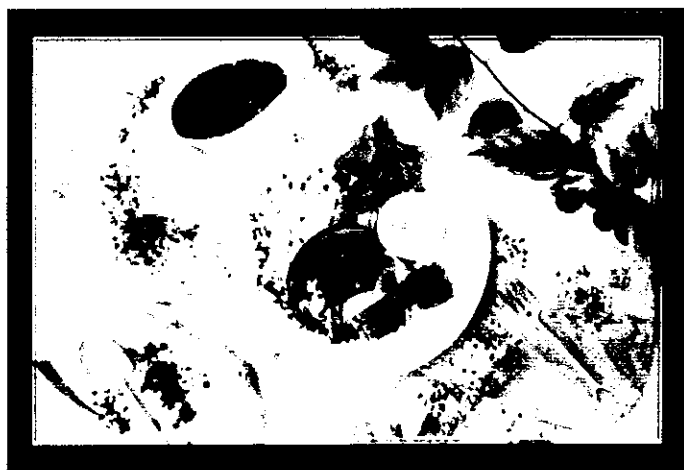
HP改定

指定管理者活動トピックス

4. レストランの取組み

展覧会に絡めた特別メニューの開発

11/14から開催された特別展示「栗田宏一×須田悦弘展」では、展示作品から土、植物をイメージさせるメニューを開発し、提供した。2月11日から開催している「キューガーデン英国王室が愛した花々」展では、アフターヌーンティを提供しており、女性客からご好評頂いている。



栗田・須田展
上：大地のカレー
下：植木のティラミス



キューガーデン展 アフターヌーン・ティー

指定管理者活動トピックス

5. 安心・安全な施設の維持管理

文学館との合同防災訓練（10/16）

閉館後の時間を使い、美術館・文学館両館の県職員・指定管理者合同による震度6の地震を想定した避難訓練を実施した。今回は、参加者一人一人が、災害時の役割を十分に把握したうえで訓練に臨めるよう、訓練前に部署ごとに説明会を6回に分けて行った。

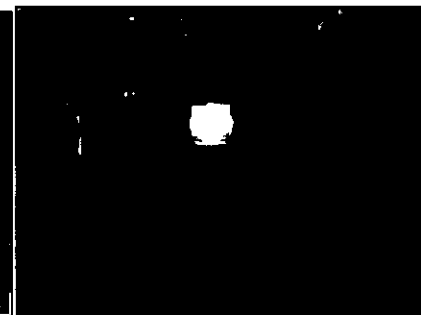
事前説明会で挙げた質疑や実習後の気づきにより、まずは直ぐに対応できる「誘導灯を兼ねる懐中電灯の追加設置」や「館内放送手順の分かりやすいマニュアルの設置」等、改善を実施。今後も挙げた意見を検討し、平常時の備えを強化するべく取り組んでいきたい。



館外へ避難誘導するスタッフ



間隔を開けて集合した待機場所



追加された懐中電灯と誘導灯

6. 令和3年度に予定している活動

基盤整備・運営面

▶ 感染症対策に関する勉強会

広報・自主事業

- ▶ 鯉のぼりワークショップ（5月）
- ▶ 彫刻探検ツアー（6月）
- ▶ 七夕ワークショップ（7月）
- ▶ ビックフラワーイベント（7月）
- ▶ 公園探検ツアー（9月）

- ▶ Instagramを活用した広報

終わり



教育課程における入館者数まとめ

◎平成30年度

	校数	児童生徒数
小学校	40	1,409
中学校	28	579
高校	19	1,586
その他	41	2,045
計	128	5,619

◎平成31年（令和元年）度


	校数	児童生徒数
小学校	33	900
中学校	56	1,275
高校	20	1,464
その他	32	1,182
計	141	4,821

◎令和2年4月1日～令和3年2月28日

	校数	児童生徒数
小学校	16	606
中学校	15	364
高校	4	353
その他	2	26
計	37	1,349

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)
								ミレ ー 常設	特別	職場	実技			
7 19	東八			○	笛川中 下見		4	○						
7 30	甲府	中		○	英和中美術部	16	2	○				○	自主見学	
8 5	中巨	中		○	玉幡中美術部	15	2	○				○	自主見学	
8 6	中巨			○	敷島中 下見		3	○						
8 6	県外			○	静岡県小学校 下見		2	○						
9 18	北巨	中	2	○	小淵沢中	9		○	○				自主見学	
9 18	甲府	小	5	○	甲府東小	65	4	○	○			○	自主見学	
10 13	南巨	中	2	○	南部中	47	5	○	○			○	自主見学	
10 16	甲府	高		○	甲斐清和高	50	2	○	○			○	自主見学	
10 21	東八	中	2	○	笛川中	29	5	○	○			○	自主見学	
10 21	県外	小	6	○	長野県青木村立青木小	31	5	○	○			○	自主見学	
10 21	中巨	中	2	○	押原中	30	2	○	○			○	自主見学	
10 21	県外	小	6	○	富士宮市立上井出小学校	11	3	○	○			○	自主見学	
10 23	東八	中	2	○	六郷中	22	5	○	○			○	自主見学	
10 27	県外	高	2	○	松本深志高(東武トップツアーズ)	198	10	○	○			○	自主見学	
10 29	南巨	中	2	○	市川中	75	6	○	○			○	自主学習	
11 11	県外	小	6	○	富士市立大淵第一小	112	8	○				○	自主見学	
11 11	県外	小	6	○	秩父吉田小	41	5	○				○	自主見学	
11 11	北都	小	1	○	猿橋中	30	3	○				○	自主見学	
11 13	中巨	中	2	○	若草中	25	2	○				○	DVD鑑賞 自主見学	
11 17	中巨	中	2	○	竜王中	26	2	○	○			○	自主見学	
11 19	東山	小	5	○	奥野田小	11	3	○				○	自主見学	
11 27	甲府	高			駿台甲府美テ科	89	6	○				○	自主見学	
12 4	中巨	中		○	子どもの村	21	1	○	○			○	自主見学	
12 8	北巨	小	6	○	泉小	37	3	○	○			○	自主見学	
12 11	甲府	小	1~3	○	子どもの村	9	1	○	○			○	自主見学	
12 17	県外	小	6	○	塩尻市立広丘小	122	11	○	○			○	自主見学	
12 18	中巨	中	2	○	白根御勅使中	9	1	○	○			○	自主見学	
12 19	甲府	高	2	○	甲府西高等学校	16	2	○	○			○	協力員解説(1階ロビー)	
12 23	甲府	小	6	○	新田小	27	2	○	○			○	自主見学	
1 22	甲府	他	3	○	山梨大学附属特別支援高等学部	7	2	○	○			○	オリエンテーリング(講堂)	
1 26	中巨	小	1~6	○	子どもの村	21	2	○				○	自主見学シール	
1 26	県外	小	6	○	小山町立明倫小(静岡)	19	5	○	○			○	自主見学	
1 29	北巨	小		○	長坂小下見		2	○	○				下見見学	
2 10	中巨	中	1~3	○	子どもの村	10	1						みなび展ギャラリーCのみ	
2 11	県外	小	6	○	南伊豆町立南中小	21	4	○	○			○	自主見学	
2 23	中巨	他	小・中	○	子どもの村 理科部?	19	2		○			○	自主見学シール	
2 14	甲府	中	3	○	富士竹中		1	○	○				下見	
2 25	北巨	小	6	○	長坂小	60	4	○	○			○	自主見学	
2 26	県外	小	6	○	明倫小(静岡県)	19	5	○	○				自主見学	

様々な美術表現を学ぶプログラムです。初めて実技に挑戦する方のための初心者講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。また、もう少し気軽に創る喜びに接することができるように、障がいのある方、幼児など、どなたでも参加できる「わかば講座」や作家の話を聴くトークショーもありますので、ご利用ください。その他、制作場所や、版画プレス機などを提供するオープンアトリエ(別表)もご活用ください。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	貴石彫刻・研磨体験 中止 作家:河野すゝむ氏	自らのデザインで、貴石を彫刻・研磨し造形します。 作家指導日:①5月3日(日・祝) ②5月4日(月・祝) 午前10:00～午後4:00 材料費1,000円 ★①②は同じ内容です。どちらかの日を選んでお申し込みください。各日定員10名。	4月10日～17日
2	木版画初心者講座 中止 美術館職員	木版の技法に触れる初心者のための講座です。この初心者講座受講者で(木版画)講座へ進む方はこの日にお申し込みください。 講座日:5月17日(日) 午前10:00～午後3:00 材料費約500円	4月24日～30日
3	木版画 中止 作家:河内成幸氏	本格的な多色木版画に挑戦します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者講座受講者のみ対象です。) 作家指導日:5月31日(日)・6月7日(日)・13日(土)・14日(日) 午前10:00～午後4:00 ※6月2日(火)～12日(金)は工房にて自主制作可 6月6日(土)は除く *材料購入希望者は5月17日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	4月24日～30日
4	みんなで作る美術館 プライベート 中止 村上慧トークショー &みなび作戦会議 (説明会)	今年度の参加型展覧会「みなび(みんなで作る美術館)」は、昨年に引き続き現代美術作家の村上慧氏を迎え、[美術館に「住む」??]をテーマに開催します。実技講座でも、みなび開催に向けて村上氏と制作に取り組んでいきます。 村上慧氏の「移住を生活する」や最近取り組んでいるプロジェクトについての楽しいトークと、みなびへの参加方法などを説明いたします。 5月24日(日) 1回目午前10:00～ 2回目午後1:30～ 場所:講堂 定員:各回30名程度 村上慧氏著→	 ◎だれでも参加可能(申込不要・聴講無料)
	みなびワークショップ 中止 「あったらいいなと思う場所」をつくる 作家:村上慧氏	作家指導日:7月18日(土)・19日(日)・24日(金・祝)・25日(土) 午前10:00～午後4:00 参加希望日を選んでください。1人から家族や友達同士のグループで参加できます。1日で未完成の場合は別の日に制作可能です。★電話、Faxでの申込可能 定員:各日先着5組(「村上慧氏トークショー&みなび作戦会議」参加者を優先します。)	◎だれでも参加可能 5月24日～ 定員になり次第締め切り
5	わかば講座 「〇〇する場所をつくるダンス」(仮題) ダンサー:鈴木つな氏	★「みなび(みんなで作る美術館)」のワークショップの1つです。障がいのある方、あらゆる方に楽しんでいただけます。 講座日:7月29日(水) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 場所:講堂 思いっきり体を動かして楽しみます。 ●保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体でも参加できます。●基本的に申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいがある方や、施設、園、学校など団体で参加される場合は事前に参加人数をご連絡ください。★汗拭きタオルや水分補給のための水分などをご持参ください。	申込不要。但し団体参加の場合のみ事前にお申し込みください。
6	スクリーンプリント 初心者講座 美術館職員	孔版(スクリーンプリント/シルクスクリーン)を理解する初心者のための講座です。この初心者講座受講者で[スクリーンプリント]講座へ進む方はこの日にお申し込みください。 講座日:8月30日(日) 午前10:00～午後3:00 材料費約800円	8月7日～14日
7	スクリーンプリント 作家:天野純治氏	スクリーンプリント(シルクスクリーン)で自分なりの作品を創ってみませんか。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者講座受講者のみ対象です。) 作家指導日:9月13日(日)・20日(日)・21日(月・祝)・27日(日) 午前10:00～午後4:00 ※9月15日(火)～26日(土)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は8月30日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	8月7日～14日

8	日本画 作家:目黒祥元氏	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。初心者には初日に材料など詳しく説明します。経験者は自由制作を中心に行います。 作家指導日:11月22日(日)・28日(土)・29日(日)・12月5日(土)・6日(日) 午前10:00～午後4:00 ※11月23日(月)～12月4日(金)は工房にて自主制作可	10月30日～ 11月6日
9	油彩画 作家:保坂博司氏	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。 作家指導日:1月10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日) 午前10:00～午後4:00 ※1月11日(月・祝)～30日(土)は工房にて自主制作可	12月12日～19日
10	わかば講座 (旧、障がい者のための講座) 色や形を楽しもう! 美術館職員	色々な形と色を使って遊んでみましょう。 講座日:3月17日(水)①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 ●保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体でも参加できます。●基本的に申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいのある方や、施設、園、学校など団体で参加される場合は事前に参加人数をご連絡ください。	申込不要。但し 団体参加の場合のみ事前にお 申し込ください。

オープンアトリエ

実技講座で学んだことを生かし引き続き制作したい方や、版画、油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場所を提供します。

★オープンアトリエは一度申し込みいただければ、通年でご利用いただけます。

☆作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者の相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。

講座名	期間(日時)	申込期間
オープンアトリエ① 中止	4月1日(水)～5月16日(土) 午前9:00～午後4:30 ※開始日未定 5月3日(日・祝)、4日(月・祝)、9日(土)、10日(日)は除く	3月24日～4月10日
オープンアトリエ②	6月16日(火)～6月28日(日) 午前9:00～午後4:30	6月7日～14日
オープンアトリエ③	8月20日(木)～9月12日(土) 午前9:00～午後4:30 8月30日(日)、9月5日(土)は除く	8月13日～20日
オープンアトリエ④	9月29日(火)～10月31日(土) 午前9:00～午後4:30 10月3日(土)、16日(金)は除く	9月22日～29日
オープンアトリエ⑤	2月2日(火)～2月28日(日) 午前9:00～午後4:30 2月6日(土)は除く	1月24日～31日

注意事項

- 対象は中学生以上(除くNo4,5,10)、定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- 受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
- 必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧になり、各自ご用意ください。初心者コースは、美術館で材料を準備します。
- 講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。
- 自主制作可能日やオープンアトリエ中、美術館のイベント等で工房が使用できない日が発生した場合は、事前にお知らせいたしますのでご協力願います。

申し込み方法

往復はがきで申し込み期間内に(消印有効)お申し込みください。
往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)
④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。
※申し込まれた方の個人情報、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。
★4の「みなびワークショップ」へのお申し込みは電話、Faxでも受け付けます。

申し込み先

山梨県立美術館 「美術体験・実技講座」係
〒400-0065 甲府市寅川1-4-27
TEL 055-228-3258 Fax 055-228-3418 (学芸課直通)

令和3年度 教育普及の主な予定（仮）

4月	<ul style="list-style-type: none"> ☉ オープンアトリエ①～5月 ☉ 実技講座「貴石彫刻・研磨」 	🎬映画会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ☉ 実技講座「銅版画（初心者）」 ☉ 実技講座「銅版画（経験者）」～6月 📖 教師のための鑑賞研究会 	🎬映画会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ☉ オープンアトリエ② 	🎬映画会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ✂️ みんなでつくる美術館 📖 職場体験・インターンシップ 	🎬映画会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 📖 教師のための鑑賞研究会 ☉ オープンアトリエ③～9月 ♥️ 手で見るミレー（レリーフ版）お披露目 ☉ 実技講座シルク（初心者） 	🎬映画会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 📖 教師のための鑑賞研究会 ☉ 実技講座「油彩画（初心者・経験者）」～10月 	🎬映画会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ☉ オープンアトリエ④（～11月） 📖 山梨県教職員初任者研修 	🎬映画会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 📖 教師のための鑑賞研究会 ☉ 実技講座「日本画（初心者・経験者）」～12月 	🎬映画会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ☉ 実技講座「リトグラフ（初心者）」 	🎬映画会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ☉ 実技講座「リトグラフ（経験者）」 ☉ オープンアトリエ⑤～2月 	🎬映画会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 	🎬映画会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ✂️ 造形広場 ☉ オープンアトリエ 	🎬映画会
その他 開催予定	<ul style="list-style-type: none"> ♥️ 新しい鑑賞ワークショップ（認知症） ♥️ 新しい鑑賞ワークショップ（視覚障害） 	

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	307	97,675	103,380	201,055
28	306	80,474	68,718	149,192
29	305	76,898	67,127	144,025
30	303	90,090	106,226	196,316
R1	280	76,546	120,458	197,004
計	12,374	9,769,575	3,949,109	13,718,684

令和2年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	0	0
5	0	0
6	25	1,810
7	27	3,031
8	27	3,441
9	26	5,011
10	27	7,295
11	25	7,162
12	22	2,689
1	26	2,996
2		
3		
計	205	33,435

令和元年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	8,375
5	27	11,441
6	26	7,243
7	26	6,788
8	28	10,212
9	25	6,606
10	26	6,354
11	26	8,969
12	21	3,196
1	26	4,174
2	23	3,188
3	0	0
年度計	280	76,546

1月まで計	257	73,358
-------	-----	--------

前年同期比 45.6%

※R2.2.28～R2.5.31は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、展示室を休止

特別展・新収蔵品展等 (R3年1月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
英国王室が愛した花々	R3年2～3月へ延期	
蟻川実花展	R3年度へ延期	
クールベと海展	47	15,246
栗田宏一・須田悦弘展	62	8,929
R2新収蔵品展	開催予定なし	
	109	24,175

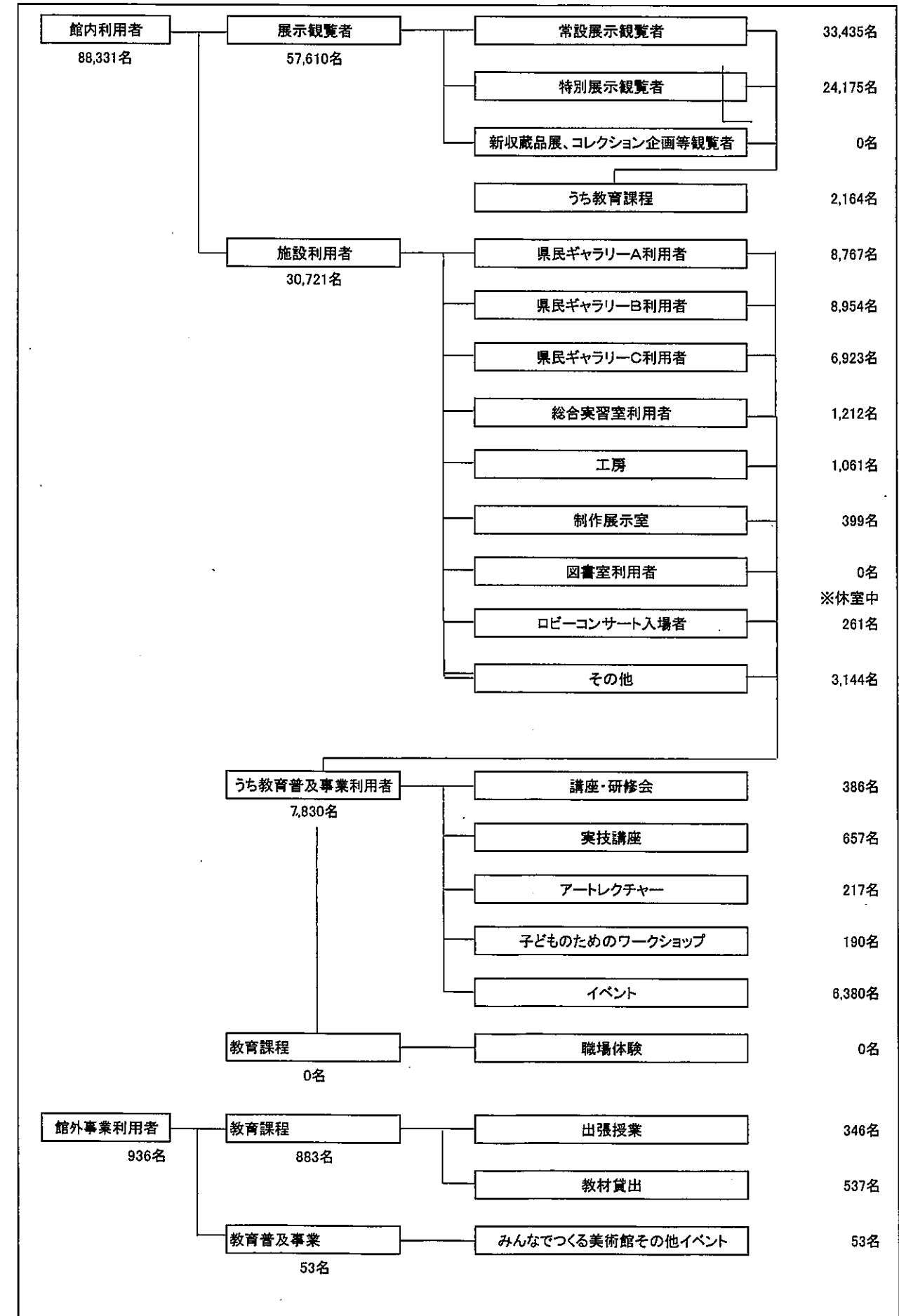
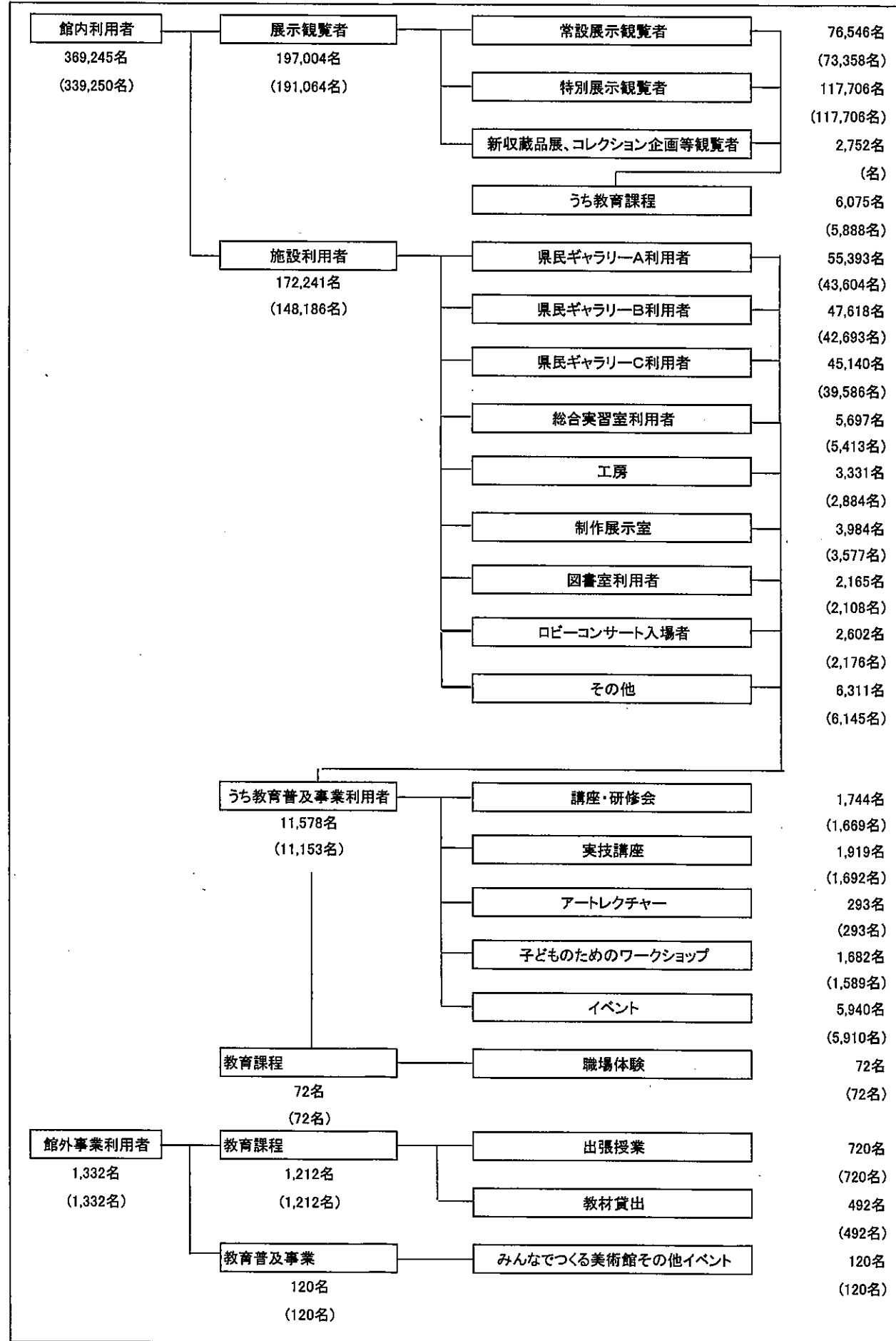
特別展・新収蔵品展等 (R1年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
デザインあ展	51	81,566
黄昏の絵画たち	57	16,904
萩尾望都SF原画展	50	10,033
現代日本の工芸展	45	9,203
コレクション企画展	17	2,752
	220	120,458

美術館における「利用者」の状況

令和元年度実績。()は令和2年1月末時点

令和3年1月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期: 令和2年10月1日～令和4年9月30日

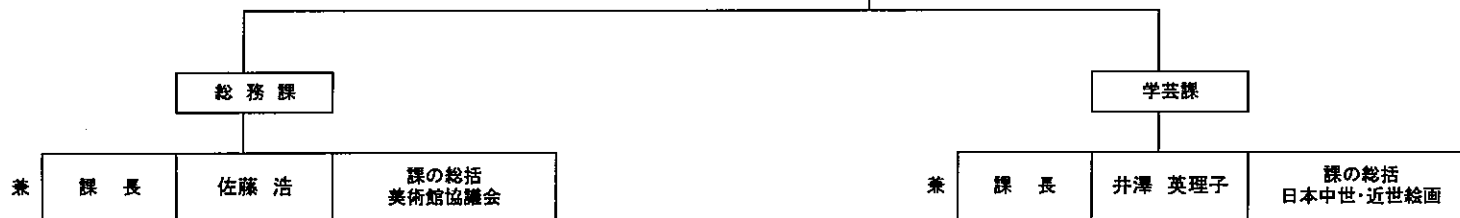
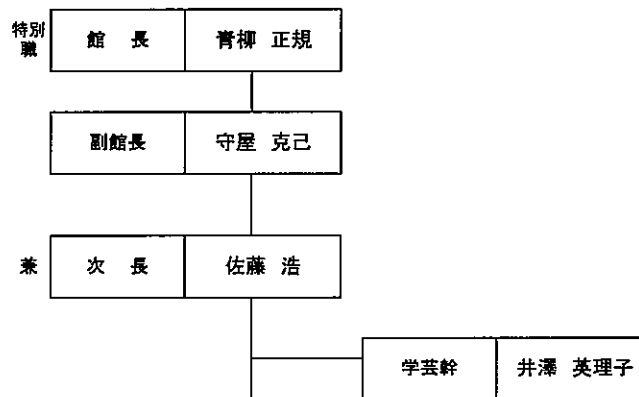
区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	ほさか かつひと 保坂 一仁	山梨県市町村教育委員会連合会代表(副会長)	社会教育関係 (甲州市教育長)
"	しおじま あけみ 塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	むこうやま ふじお 向山 富士雄	南アルプス市立美術館館長	学識経験者 (南アルプス市立美術館館長)
"	つるた いちよう 鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	ふるや ともこ 古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	ほさか ひろし 保坂 博司	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	たかの まごぞえもん 高野 孫左之門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	のぐち えいち 野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	はらだ ゆきひこ 原田 由起彦	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	やすで てるのぶ 安出 光伸	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	なかだ ひろひろ 仲田 道弘	公益社団法人やまなし観光推進機構理事長	学識経験者 (公益社団法人やまなし観光推進機構理事長)
"	あめみや みみこ 雨宮 美美子	公募委員	家庭教育関係者
"	じんぐうじ ようこ 神宮司 洋子	公募委員	家庭教育関係者
任命	こうの みづほ 河野 瑞穂	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (南アルプス市立若草南小学校長)
"	てしま としま 手島 俊樹	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)

美術館組織図

令和3年2月1日現在

所属名	県立美術館		
	正規職員	特別職非常勤職員	会計年度任用職員
11 兼(1)	1	5	17 兼(1)

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主査	進藤 真行	担当の総括 予算管理
主査	芦澤 佳	会計・経理 旅費・物品
会計年度 任用職員	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務

学芸担当

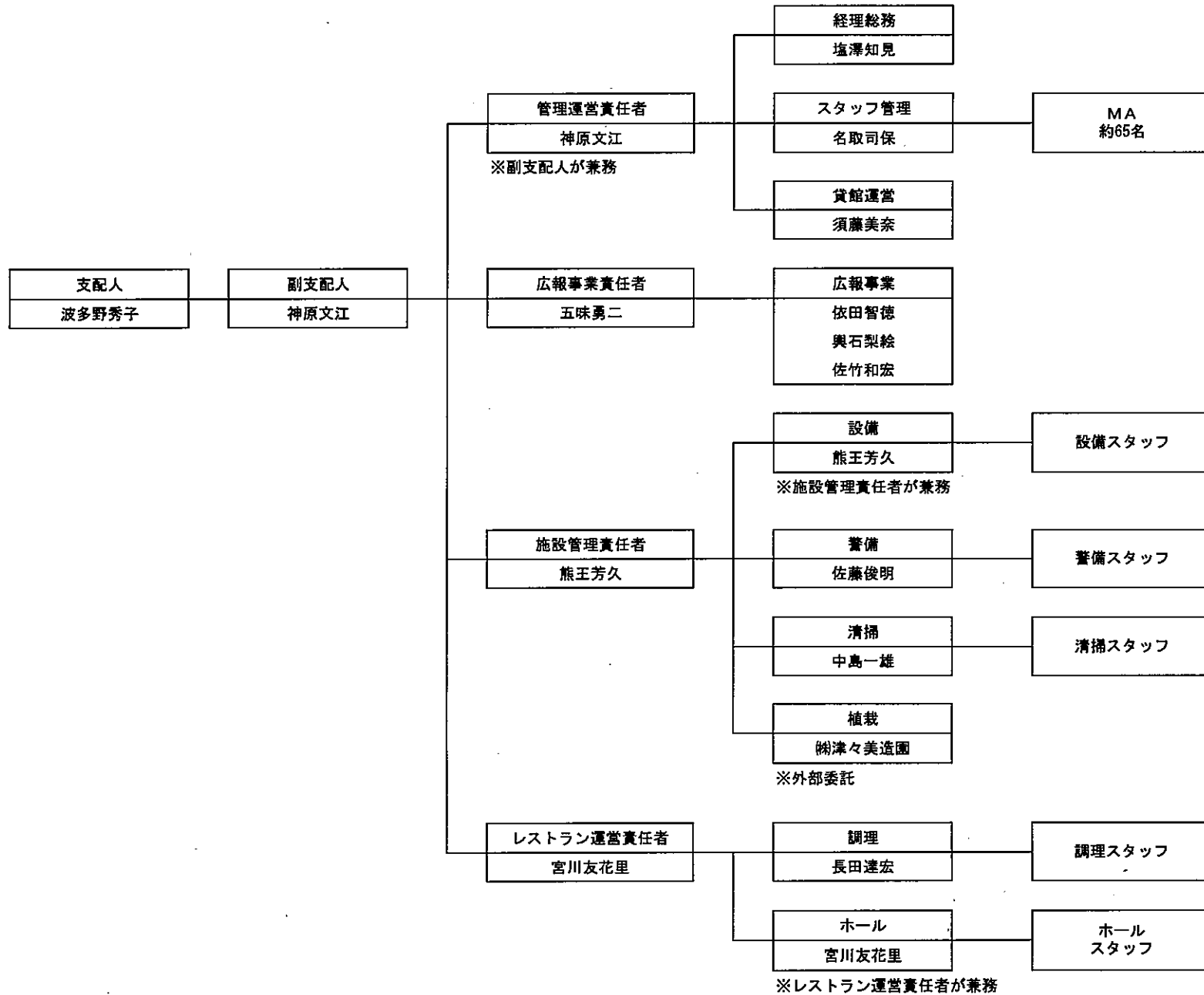
職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	平林 彰	担当の総括 日本近世・近代絵画
学芸員	太田 智子	西洋近代絵画、現代美術
学芸員	森川 もなみ	西洋・日本近代美術
学芸員	下東 佳那	日本現代美術・現代洋画
会計年度 任用職員	雨宮 千鶴	学芸補助
会計年度 任用職員	伊藤 茜	学芸事務
会計年度 任用職員	成島 由季子	学芸事務

普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	高野 早代子	担当の総括 県関係作家、保存
主幹	小俣 直喜	美術館教育
主査	瀧澤 智子	美術館教育
会計年度 任用職員	藤木 成弘	協力員指導

美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	小杉 佳子	協力会経理
協力会 職員	矢崎 理江	協力会経理



○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2～4 （略）

第三条 （略）

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

4 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、特別委員、専門委員又は臨時委員（以下「特別委員」と総称する。）を置くことができる。

5 特別委員は、執行機関の規則で定めるところにより、知事が任命し、又は委嘱する。

（会長等）

第五条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会等）

第七条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

第八条 （略）

（委任）

第九条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

一 知事の附属機関 ※R2年度より知事委員会の附属機関から知事の別表第一に掲げる

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和三十六年法律第三百八十五号）第三十条第三項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学識経験のある者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	三年
山梨県立美術館専門委員会	山梨県立美術館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	七人以上	一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋） 山梨県規則第八号

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第二条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第三条 （略）

（会長等）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関（次に掲げる附属機関を除く。）に会長を（略）置く。

2～3 （略）

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数

第六条～第七条 （略）

（資料の提出等の要求）

第八条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

（意見の陳述）

第九条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

第十条～第十一条 （略）

（庶務）

第十二条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）

第十三条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（所管）

第十九条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた博物館にあつては、当該地方公共団体の長。第二十一条において同じ。）の所管に属する。

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館は、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。